



2024年1月1日、  
大野記念病院は  
創立100周年を  
迎えました。

大野記念病院 広報誌 特別号

OHNO Fan  
January 2024

Vol.

5

## MIRAI VOICE

100周年を越え  
未来に向けた

# 10の約束。

地域に根差し、  
地域に安心を  
与える病院になる。

何か困ったことがあったときに、  
「大野記念病院があるから大丈夫」  
と思ってもらえる病院になる。

より安心して治療が  
受けられる病院になる。

最新の設備と、質の高い職員で、  
患者様に「安心な治療」を提供できる病院になる。

予防医療に  
力を注ぐ病院になる。

未然に病気になるように対策をすることで、  
地域の健康の支えになる。

地域医療に貢献し、  
地域から信頼される  
病院になる。

救急医療の充実を図り、  
どんなときでも  
対応可能な病院になる。

地域に住まれている方だけでなく、旅行者や  
地域で働かれている方の緊急時に対応することで、  
安心を提供できる病院になる。

職員に愛される  
病院になる。

大野記念病院で働いて  
本当によかったと思ってもらえる、  
永続的に働きたいと思える病院になる。

職員が成長を  
実感できる  
病院になる。

大野記念病院で働くことで、  
職員が知識や技術の成長だけでなく  
人として成長を実感できる病院になる。

多様な価値観を  
認め合うことができる  
風土を醸成する。

誰もが他者から  
受け入れられる側であることを  
基本的な考え方とし、  
「自分らしく生きる」ことが  
できる病院になる。

ワークライフバランスを重視し、  
職員が健康で豊かな  
生活ができる職場になる。

仕事のやりがいや充実感だけでなく、  
子育て・介護・家族との時間・自己啓発等にかかる  
個人の時間も尊重し、調和の実現を希求していく。

自分のやりたいことに  
挑戦できる、後押しできる  
職場になる。

変化する状況に  
適切に対応し、  
新しい仕事のやり方を考え、  
それに挑戦できる職場になる。

## MIRAI VOICE 02

私は入職後、医事課・企画広報課・  
腎臓病センターと  
様々な部門を経験しました。  
事務職の仕事は多岐に渡るため、  
仕事をしていく中で多くのことに  
対応できるオールラウンダーを  
目指すようになりました。  
そのために多くの人と  
積極的に関わり日々学び、  
何事にもチャレンジしたいと思います。  
そして、日々仕事を楽しみ  
110周年、120周年これからの  
当院の発展に向け頑張ります。

100周年準備プロジェクト  
腎臓病センター 事務科  
太田雄大



## MIRAI VOICE 03

私は大野記念病院が、怪我や病気の不安を抱いたときに、  
高度な精密検査や治療を必要とするときに、  
「大野記念病院に相談しよう」「大野記念病院に紹介しよう」と  
思ってもらえる病院にしたいと考えています。  
そのために我が放射線科も、医師や患者様からの信頼を得て  
安心して検査を任せられるように日々の研鑽を怠らず、  
病院全体からチームの一員と認められるように努力を続けたいと思います。

100周年準備プロジェクト  
放射線科 診療放射線技師  
庄司忠



100周年準備プロジェクト  
総務課  
小坂貴志





## 大野記念病院

# 100年の軌跡

大野記念病院は、2024年1月1日に創立100周年を迎えました。

患者様、利用者様、地域の方々、各企業の方々、医療関係者等

寿楽会を取り巻くすべての人々に感謝を込めて。

## Ohno Memorial Hospital

## 100 years History

## Message

## 今までも、これからも 地域の皆様とともに

2024年1月1日、大野記念病院の創立100周年という記念すべき節目に、喜びと共に感無量の思いに包まれています。

29歳で院長に就任した私にとって、祖父良蔵、父良雄の築いてきた病院を未来へつなげる責任は、非常に重いものであると共に、心躍る挑戦でもありました。「変わらないために、変わり続ける」をモットーに様々な改革に取り組んできました。

まずは病院の移転です。西区内で現在の場所に新病院を建設し、「大野記念病院」として再出発したことは最も大きな決断でした。そこには困難も多く、バブル崩壊、リーマンショックによる経営危機は病院存続が危ぶまれるほどでした。新型コロナのパンデミックも医療現場を揺るがす未曾有の出来事でした。

しかし、それらの困難を体験したからこそ、私は医療の本質と真摯に向き合い、病院の存在意義を問い直しました。そして「医療は地域のため」という初代院長良蔵の思いに帰し、「医療を通じた人々との心のふれあい」という当院の理念を再確認できたのです。

1998年に理事長として、医療の現場から経営へとステージを移しましたが、「医は仁術なり」という博愛の精神を持ち続ける病院でありたいという姿勢は決して変わりません。

100周年という節目を迎えられたのは、職員の方々の医療や患者様への情熱とサポートがあってこそです。この場を借りて、すべての職員の皆様に感謝の意を述べたいと思います。

地域、そして職員と共に歩んできた100年間、私たちは純粋に医療に専念してきました。

患者様の声を聴き、常に最良の医療を提供すること。医療の根本は人であり、患者様の心を支える医療を紡いでいくこと。私たちはこの決心を胸に次世代へバトンを繋ぎ、医療を通じた人々との心のふれあいを基本理念として、地域社会に貢献します。

社会医療法人寿楽会の理念  
「ホスピタル・コミュニケーション」

社会医療法人 寿楽会  
理事長  
大野 良興

地域の皆様とともに  
歩んで100周年



## 2020

- 大阪市立大学教授  
稲葉雅章氏  
名誉院長に就任
- 急性期一般入院科Iの取得



## 2021

- 整形外科  
手術支援ロボット  
「Mako」を導入



## 2023

- 手術支援ロボット  
「ダ・ヴィンチ」を導入
- 320列エリアディテクター  
CT装置へ更新  
東芝 Aquilion ONE

## 2024

- 創立100周年
- 公益財団法人  
日本医療機能評価機構から  
病院機能評価3erG  
Ver.3.0の受賞



## 2011

- 浪速区湊町に  
ハーバータウンクリニック  
(透析サテライト)開設



## 2014

- 在宅療養  
後方支援病院の認定
- 障害者病棟開設 (28床)



## 2012

- 骨密度測定装置導入  
ホロジック社  
Discovery Wi
- 128列マルチスライス  
CT装置へ更新  
シーメンス社



## 2015

- 山内伸一  
第5代院長就任
- 地域包括ケア病棟開設  
(45床)

## 2016

- 電子カルテシステム更新
- NBI 拡大内視鏡を導入



## 2019

- 3テスラMRI装置へ更新  
(西日本1号機) シーメンス社  
MAGNETOM Lumina



## 2000

- X線CT新機種  
ヘルカルCT導入



## 2005

- 16列マルチスライス  
CT装置 SOMATOM  
Emotion16  
(ドイツ シーメンス社)を導入
- 1.5テスラMRI装置  
MAGNETON Avanto  
(ドイツ シーメンス社)を導入
- 公益財団法人  
日本医療機能評価機構から  
病院機能評価Ver.4.0の認定



## 2010

- 公益財団法人  
日本医療機能評価機構から  
病院機能評価Ver.6.0の  
認定を受ける

## 1998

- 大野良興  
理事長就任



## 2001

- 血管撮影装置新機種更新  
東芝アンギオグラフィシステム

## 2004

- 臨床研修医受入開始



## 2006

- 開放型病院の  
認定を受ける

## 2008

- 外来化学療法センターを  
開設
- DPC診療を導入
- 電子カルテ導入



## 1984

- MRI-CT導入(近畿初)

## 1985

- 天王寺区大道に  
大野病院附属診療所開設  
(透析サテライト)

## 1989

- 大野記念病院開設(移転)
- 中央区難波に大野クリニック  
(人間ドック)開設



## 1996

- 箕面市に老人保健施設  
箕面グリーンビラを開設
- MRI-CT 新機種変更  
シーメンス社1.0テスラ

## 1977

- 大野良興  
第3代院長就任



## 1990

- 西区南堀江に  
MOクリニック  
(集団健診)の開設



## 1924

- 創立者:大野良蔵



## 1955

- 大野良雄  
第2代院長就任



## 1975

- 医療法人寿楽会設立

## 1976

- 人工腎センター開設  
(12床)



## 1969

- 整形外科・内科・胃腸科・  
放射線科を開設

